

第 3 学年「理科」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 素材のもつ特徴に気づき、興味関心をもって積極的に学ぶことができている。
○ 植物を育てる活動を通して、変化や成長の様子に関心をもち、観察することができている
- 課題** ▼ 生活経験と結びつかないことが多く、学びが連続して続かない傾向がある。
▼ 自分の考えを予想したり、考察したりすることが不十分である。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ これまでの生活経験を生かして、予想したり考察したりして、主体的に問題を解決しようとする力
- ◇ 観察・実験などに関する基本的な技術を身に付ける力
- ◇ 自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、問題を見いだす力

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 植物や昆虫などの生き物に愛着をもって実際に育てたり、世話をしたりして、それらの生態や特徴を体験的に学んでいく。

言語活動の工夫

- 学校図書館を活用し、図鑑等の図書資料で必要な情報を収集する。

ICT活用の工夫

- タブレットを活用して、記録に残して経過を観察したり、キーワードを検索したりする。

課題解決力育成の工夫

- 五感をフルに生かして、実験したり試したりして経験的に学んでいく。
- 理科的な見方・考え方を働かせ、様々な事象に問いをもち、比較・検証しながら探究的に学ぶ。

達成目標

- 〈物質・エネルギー〉物の性質，風とゴムの力の働き，光と音の性質，磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付け、追究する中で，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力を育成するとともに，主体的に問題解決しようとする態度を養う。
- 〈生命・地球〉身の回りの生物，太陽と地面の様子についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付け、追究する中で，主に差異点や共通点を基に，問題を見いだす力を育成するとともに，生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。